

F ★ ★ ★ ★

無鉛

# AUコート

## 2液アクリルウレタン薄膜床用塗料



### 乾燥性 AUコート・AUコートクリヤー共通

温 度	10°C	23°C	30°C
可 使 時 間	2時間	2時間	1時間
上塗り可能時間	6~48時間	4~48時間	2~48時間
歩 行 可 能 時 間	18時間以上	12時間以上	12時間以上
重作業可能時間	48時間以上	24時間以上	24時間以上

※ 乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意下さい。

### 性状・物性 AUコート

試 験 項 目	試験結果	試 験 条 件
外 観 A 液	透明粘稠液	
B 液	着色粘稠液	
引っかき硬さ	2 H	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	50mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機、CS-17 9.8N 回転数1000回
鏡面光沢度	90以上	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	サンシャインウェザーメーター1000時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

※ 判定 ○=異常なし/○=やや難引き ※ スポット試験は、JIS A 5705に準拠  
 ※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

### 施工上のご注意・メンテナンス

#### 施工上のご注意

AUコート・AUコートクリヤー共通

- 事前に下地調整を必ず行って下さい。下地はコンクリート・モルタルのエフロレッセンス(白華)、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取り除いて下さい。また、新設コンクリート、モルタルの表面にはレイターンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きボリッシャー等でレイターンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりブリキ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットしてフローンエポバテなどを充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- 旧塗膜がある場合は、当社までご相談下さい。
- AUコート・AUコートクリヤーは、2液反応硬化型ですから、可使時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄のないように材料を配合して下さい。
- ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際塗膜が剥がれる場合があります。
- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- 気温5°C以下湿度80%以上では使用しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、

#### メンテナンス

- 日常の清掃は、毛先の柔らかい「ほうき」でホコリを取り、乾いたモップで拭いて下さい。出入口には、防塵マットを敷いて下さい。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してモップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
- アルカリ、酸、薬品、油等が床にこぼれた場合、ウエス等で拭き取り、モップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
- 化学工場などでは、毎日水洗いし化学物質の蓄積を防いで下さい。
- 月1回程度のワックス掛けをしていただければ、美しさをより長く維持していただけます。

引火性あり	警 告	有 害 性 あ り	感 作 性 あ り	
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。	5.変異原性の恐れがある。 6.発癌性の恐れがある物質を含有している。		
業 務 用	《注意事項》1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)			

※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●お問い合わせは・・

 東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.03(3693)0851 FAX.03(3697)2306

 東日本塗料

## 耐候性

耐候性に優れた  
アクリルウレタン樹脂を  
使用しているので屋外施設の  
モルタル・コンクリートへの  
使用も可能です。

# AUコート

## アクリルウレタン薄膜床用塗料

## 耐薬品性

耐酸・耐アルカリ・耐水  
耐塩水性に非常に  
優れています。

## 用途

### 内外部モルタル・コンクリート床面

- 工場
- 廊下・階段
- 倉庫
- 駐車場
- プールサイド

\*タイヤ接地面は剥離する可能性が  
ありますので、下地の研磨処理は  
念入りに行って下さい。

## 色相

### 常備色(6色)

- A-1/マスカットグリーン
- A-2/エメラルドグリーン
- A-3/フレッシュグリーン
- A-4/フォックスグレー
- A-5/サンドベージュ
- A-6/スクエアーブラウン

### 標準色(15色)

\*受注生産

### 指定色

\*イエロー系・赤系等の明度及び彩度の高い色  
は、黒べり性が低いので上塗り工程一層目に共  
色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめ  
します。また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸  
い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準  
塗装回数より多くなることがあります。

### クリヤー

## 製品仕様

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積	希釈割合	
	A液	B液	セット	A液	B液			
AUコート	3kg	12kg	15kg	1	4	0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回塗りで50m <sup>2</sup>	ローラー・ハケ	
	1kg	4kg	5kg			0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回塗りで16m <sup>2</sup>		
AUコートクリヤー	3kg	12kg	15kg	1	4	0.15kg/m <sup>2</sup> ×3回塗りで33m <sup>2</sup>	20~40%	
	1kg	4kg	5kg			0.15kg/m <sup>2</sup> ×3回塗りで11m <sup>2</sup>		
トップ14シンナー*	16ℓ		希釈割合 30%	15kgセットに対し4.5kg		30~40%	スプレー	
	4ℓ			5kgセットに対し1.5kg				

\*AUコートクリヤーをプライマー代わりに塗る工程では希釈割合が40~70%となり、15kgセットに対し6kg~10.5kg、5kgセットに対し2kg~3.5kg必要です。



施工前



施工後

## 密着性 耐摩耗性

ウレタン樹脂特有の緻密な  
塗膜ですので密着性に優れ  
優れた耐摩耗性を発揮し、  
床面を保護します。

## 標準工法

### AUコート

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m <sup>2</sup>	上塗可能時間 (23℃)	備考
コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	*施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	4~48時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	12時間以上 (軽歩行開放時間)	
ニート防滑工法 (総合塗膜厚1.2mm)	1	素地調整	—	—	*施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	直後	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フローン珪砂 6号又は7号 (追吹付)	0.3	12~48時間	前工程直後、リシンガン(口径3~4mm) にてフローン珪砂6号、又は7号を散布。 硬化後、余剰なフローン珪砂を除去。
	5	AUコート トップ14シンナー	0.2 0.06	4~48時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	6	AUコート トップ14シンナー	0.2 0.06	12時間以上 (軽歩行開放時間)	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
AUプラチップ仕上 (総合塗膜厚約0.9mm)	1	素地調整	—	—	*施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2~24時間	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	AUコート フローンプラチップ トップ14シンナー	0.15 0.008 0.05	4~48時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌したAUコートにフ ローンプラチップを5%加え、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	AUコート フローンプラチップ トップ14シンナー	0.15 0.008 0.05	12時間以上 (軽歩行開放時間)	

\*1 吸い込みムラがある箇所はもう1回以上塗布して下さい。

\*2 フローンプラチップを用いたローラー工法では、フローンプラチップを均一に仕上げるため、必ずローラーネットを用いて施工して下さい。

\*3 繊密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フローンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。

\*4 AUコートは表面乾燥が早く、乾燥後は珪砂が密着しにくくなるため、工程3施工後は速やかに珪砂の散布を行って下さい。

### AUコートクリヤー

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m <sup>2</sup>	上塗可能時間 (23℃)	備考
AUコートクリヤー コーティング工法 (塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	*吸い込みムラの発生を抑制するために、 新設コンクリート・モルタルは必ず研磨を行 い、レイターンスを除去して下さい。詳細は 施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	(プライマー代わり) AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.06~0.1	4~24時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて40~70%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.045	4~24時間	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、混 合、電動攪拌機にて攪拌後、トップ14シン ナーにて30%希釈し、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.045	12時間以上 (軽歩行開放時間)	

\*1 下地コンクリート・モルタルの吸い込み状況によっては、部分的なムラが発生する場合がありますのでご注意下さい。

\*2 繊密なコンクリートの場合、AUコートクリヤーは使用できません。

\*3 AUコートクリヤー下塗りとして、弊社床用プライマー(フローンエコプラ速乾等)は黄変の恐れがある為使用できません。